主要事業の進め方について

国際交流課

資料4

	R8 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R9 年度	R10 年度	R11 年度
① ウェルカムパッケージの整備（ひな形作成） 転入する外国人が安心して生活を送るための情報をまとめたもの（やさしい日本語と多言語によるガイドブック）	委託契約手続き → 市町村へ説明 → レイアウト策定 → 意見照会 → レイアウト修正 → ウェルカムパッケージ策定 → 市町村にて加筆 → 住民へ配布開始														
	・意見照会による記載項目の調整（市町村、外国人県民） ・必須項目決定 （税制度・社会保障制度・ 生活ルール（ゴミ出し、交通マナー、居住マナー等）） ・レイアウト調整（紙版、デジタル版）												**R11年度末達成目標 外国人県民100人以上の市町村での活用100%**		
②日本語有資格者紹介体制の整備 日本語教育を推進する事業者等に日本語教育有資格者(登録日本語教員を含む）を紹介可能な体制の整備	紹介制度に関する要綱制定 → 県内日本語教育有資格者の掘り起こし → 関係機関への周知 → 制度運用開始（HP公開）令和9年度～														
	HP公開準備												**R11年度末達成目標 事業者等への紹介年間50件**		
③ 多文化交流サポーター（仮称）制度の構築 外国人住民と地域とを繋ぐ役割を担う人材の認証制度	先進地視察 → 制度設計・モデル市町村との調整 → モデル5市町村で実施 → 29市町村へ横展開														
	・鳥取県 「多文化共生サポーター」制度（対象：個人又は団体） 国際交流協会と連携した取組を展開している ・外国人住民の相談・要望を行政機関へ伝達し、解決に努める役割 ・外国人住民からの要望に応じた、行政からの情報や生活情報の伝達 ・佐賀県 「多文化交流サポーター」（対象：県庁職員） ・国際交流イベント開催の手伝いや交流会の実施等を通じて、将来的に地域のリーダーやコーディネーターとして活躍する人材の育成を目指す取組												・福井県 ①ふくい外国人コミュニティリーダー （対象：研修を受け認定された外国人住民） ・行政との懸け橋、母国語での情報伝達、相談対応、地域ネットワーク構築の核としての役割を担う ② ふくい多文化共生プロモーター （対象：外国人地域おこし協力隊員） ・ 外国人視点での県PR、行事の企画・運営支援		**R11年度末達成目標 外国人県民100人以上の市町村でのサポーターが登録される**		

プラン全体に係るKPI(R11年度末)　① 県内で就労する「技能実習」及び「特定技能」の労働者数5,600人以上　②「多文化共生」の言葉の認知度向上70%